

ロームシアター京都 × 京都芸術センター U35 創造支援プログラム “KIPPU”

akakilike

はじめまして こんにちは、今私は誰ですか？

2019.2.15-2.16 ロームシアター京都



あなたはどこから来たのか、いったい何者か。

ここには「今」しか存在しません。

肩書きでは証明できない「私」は誰なのか、常に問われている気がします。

深く刻まれた歴史が蓄積する身体の末端にある「今」に出会えたことに感謝し、

私はここにやってきては、また自分のお家へ帰っていきます。

記憶とは曖昧で、そのお家がどこだったか、私にはさっぱりわからない。

【作品概要】

2018年1月、演出家・振付家・ダンサーの倉田翠 (akakilike) が、京都市が主催する「文化芸術で人が輝く社会づくりモデル事業」として、京都市・東九条地域にある高齢者福祉施設「故郷の家・京都」の高齢者や、その地域の人々と対話を重ね、映像を取り入れた舞台作品を制作しました。

2017年の6月から東九条に通い続け、出会った人々の人生、地域の歴史など様々な話に耳を傾けてきた倉田。

舞台上には、在日コリアンが多く入居する老人福祉施設や団地などでの交流・対話の様子、同地域で喫茶店を営む日本人のおばあさんとの出会いなどを通して、パフォーマンスに対する絶対的な過去（記憶）としての映像が投影される。生の舞台では、映像出演した福祉施設の認知症の利用者や、このプロジェクトを共に行った京都市の職員、在日コリアンの女性が実際に登場し、それぞれの立場から倉田との対話を試みる。その対話は「社会包摂とは?」「芸術による街づくりとは?」など、このプロジェクトの本質とも言えるトピックを含み、それらは全て彼ら自身の言葉によって語られる。また、在日コリアン(4世)の女性らを取巻く環境や言語の問題にも触れている。この場所でアーティスト/ダンサーとして創作することで生まれた葛藤や、他者と分かり合うことの困難さ・意義が作品を通して描かれる。倉田との対話の最後に認知症の老人が「今のことは忘れへん、絶対忘れへん」と未来の約束をするが、ここ(舞台)には過去も未来も無くただ「今」だけが存在し続ける。

彼らと再び舞台上で出会い、生まれるこの作品をロームシアター京都で上演致します。

【「文化芸術で人が輝く社会づくりモデル事業」について】

文化芸術の力により、社会的困難を抱えた方も含めた様々な人々の社会参加を促進するため、子育て支援施設や高齢者福祉施設等に芸術家を派遣するモデル事業を実施し、その効果を検証するとともに、他都市の事例等の調査を踏まえ、今後の本格的な事業展開につなげていくことを目的とする事業。



『はじめまして こんにちは、今私は誰ですか?』(2018) 撮影：前谷開

【東九条地域】

東九条はJR京都駅の南に位置し、京都で在日コリアンが最も多く住んでいる地域。1920年代頃から国鉄の東海道線の工事などの職を求めて来た韓国・朝鮮人が住み始め、戦後に人口が著しく増えていった。

高度経済成長の終わりとともに産業は廃れ、若い世代の多くは地域を離れ、一世を中心とする高齢者家族が残り、鴨川と高瀬川に挟まれた松ノ木町40番地（現：東松ノ木町）は、国・行政から「不法住宅」と呼ばれ、長い間放置され続けた。東九条は韓国・朝鮮人だけの街ではなく、農村から出稼ぎに来た障がい者など被差別地域から様々な理由で移り住んできた人々も多くおり、いわば地域全体が、行政から見放された被差別地域として存在していた。近年、行政は地域住民の声を聞きながら新しい街づくりにとりかかり始めている。

はじめまして こんにちは、今私は誰ですか？トレーラー

<https://youtu.be/Qpz-Dull8x0>



© 平澤直幸

【akakilike プロフィール】

akakilike(アカキライク)は、テクニカルスタッフと倉田翠のみで構成され、主に舞台作品を作る。舞台創作の現場において、演出家が中心の家父長制や、スタッフには給料が担保されているが、出演者には手弁当が多い状況など、舞台業界のヒエラルキーに疑問を感じた倉田が、対等な関係で出演者とスタッフが作品をつくる関係性を目指し、構成した集団。メンバーは主宰・演出の倉田翠、映像・演出助手の平澤直幸、照明の魚森理恵、音響の甲田徹の4名。それぞれが確立して作品のためにやるべきことをする。

【倉田翠プロフィール】

倉田翠 くらた・みどり

1987年生まれ。京都造形芸術大学映像・舞台芸術学科卒業。3歳よりクラシックバレエ、モダンバレエを始める。京都を中心に演出・振付家・ダンサーとして活動。作品ごとに自身や他者と向かい合い、そこに生じる事象を舞台構造を使ってフィクションとして立ち上がらせることで「ダンス」の可能性を探求している。2016年から倉田翠とテクニカルスタッフのみの団体〈akakilike〉の主宰を務め、アクターとスタッフが対等な立ち位置で作品に関わる事を目指し活動している。近年の作品に『家族写真』『捌く』『はじめまして こんにちは、今私は誰ですか？』などがある。



akakilike ウェブサイト

<https://akakilike.jimdo.com>

akakilikeの最新情報や過去作品をご覧ください。

akakilike 過去作品ダイジェスト映像

<https://youtu.be/idZT6mTIC6E>

【公演概要】

日程 |

2019年

2月15日 [金] 19:00-◎

2月16日 [土] 13:00-● / 17:00-◆

◎アーティストトーク：演出・倉田翠と映像・平澤直幸によるアーティストトーク

アーティストトーク（追加決定！）

●ゲスト：南 椋椋（絵本作家）

◆ゲスト：村川拓也（演出家）

会場 |

ロームシアター京都 ノースホール（京都市左京区岡崎最勝寺町13）

チケット料金 | [全席自由・日時指定]

前売 一般	3,000円
ユース（25歳以下）	2,500円
高校生以下	1,000円

*一般、ユースチケットは当日500円増

*小学生以下無料（席が必要な方は要事前予約・akakilikeメールまで）

*ユースチケット及び高校生以下チケットをご購入の方は、証明書の提示が必要です。

*車椅子でご来場のお客様は事前に akakilike までご連絡ください。

チケット取扱 |

・カルテットオンライン

<https://www.quartet-online.net/ticket/hajimemashite> ※事前登録不要 [24時間受付・当日精算]

・ロームシアター京都 オンラインチケット

<https://www.e-get.jp/kyoto/pt/> ※要事前登録（無料）[24時間購入可]

・ロームシアター京都 チケットカウンター

TEL：075-746-3201 [窓口・電話とも10:00～19:00 / 年中無休 ※臨時休館日を除く]

・京都コンサートホール チケットカウンター、京都芸術センター 窓口でも取り扱いあり。

演出：倉田翠

映像：平澤直幸

出演：

倉田翠 倉谷誠 丁春燁 浦宏年

岩本義夫 小林久江 山田茂 村木美都子ほか（映像出演含む）

スタッフ：

演出助手・宣伝美術：平澤直幸

音響：甲田徹

照明：魚森理恵（kehaiworks）

舞台監督：大田和司

制作：豊山佳美

*本公演は京都市「文化芸術で人が輝く社会づくりモデル事業」により上演した内容を元に、新たに制作したものです。

主催 | akakilike

共催 | ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都芸術センター（公益財団法人京都市芸術文化協会）、京都市

協力 | 社会福祉法人 こころの家族、京都コリアン生活センター「エルファ」、東九条まちづくりサポートセンター「まめもやし」、在日大韓基督教会京都南部教会、東山 アーティスツ・プレイスメント・サービス（HAPS）、一般社団法人アーツシード京都